

1999年 1月～2014年 12月に本院の呼吸器外科で、原発性肺癌に対する根治手術(肺葉切除術)を受けた方へ

研究:肺腺癌におけるGAD1遺伝子の発現・機能解析の実施について

1. 本研究の目的および方

これまでにいくつかの癌でGAD1遺伝子の発現が癌の進行に関わっている可能性が報告されています。今回の研究では、手術で摘出した肺腺癌の病理検体を用いて、GAD1遺伝子の発現を調べることで、そしてGAD1遺伝子の機能を解析することを目的としています。

研究対象:1999年 1月～2014年 12月に本院の呼吸器外科で、原発性肺癌に対する手術を受けられた方
研究方法

- ・手術で摘出した組織の凍結標本を用いてDNA, RNAを抽出し、GAD1遺伝子の発現を調べます。
- ・保存しているホルマリン固定標本を用いて免疫染色検査により、GAD1蛋白の発現を調べます。
- ・臨床情報と遺伝子、蛋白の発現の関係について調査します。
- ・研究全体の実施期間は承認後～2019年3月までです。予定症例数は150例です。
- ・本研究は、倫理委員会の承認を得て実施しています。

2. 研究に用いる試料・情報の種類および保管方法について

- ・研究に用いる情報:年齢、性別、喫煙歴、癌の進行度、画像検査データ、予後情報などの診療情報
- ・研究に用いる資料:手術で摘出された検体の余剰分
- ・記録の保管責任者は臨床腫瘍医学分野教授;近藤和也とし、胸部・内分泌・腫瘍外科(施設あり)に本研究に係わる必須文書を保存する予定です。抽出したDNA, RNAは徳島大学胸部・内分泌・腫瘍外科の施設可能な実験室冷蔵庫において-80℃で保管します。収集した情報は電子媒体として保存し、胸部・内分泌・腫瘍外科教室の施設可能な匿名化管理用コンピューター(外部ネットワークとの接続無し)に保管します。収集した試料、情報は研究終了後5年間保存し、期限終了後に廃棄・削除します。

3. 研究結果の公表について

本研究の結果は学会や雑誌等で公表することがありますが、公表に際しては特定の研究対象者を識別できないように措置を行った上で取り扱います。

4. 研究資金および利益相反管理について

本研究における特別な研究資金はありません。本研究は、本院の研究費のみを使用して実施されます。本研究の利害関係については、臨床研究利益相反審査委員会の審査を受け、承認を得ております。

5. 本研究への参加を拒否する場合

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

6. 研究責任者および連絡(問合せ)先

【研究機関】 徳島大学 胸部・内分泌・腫瘍外科

【研究責任者】呼吸器外科 助教 坪井 光弘

【連絡先】

徳島大学病院 呼吸器外科 助教 坪井 光弘

電話番号:088-633-7143 (徳島大学大学院 胸部・内分泌・腫瘍外科)

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい。